

測定方法・試験方法

〔回転トルク(作動力)〕

軸(レバー)を回転(移動)するのに必要なトルク(作動力)を測定する。特に規定がない限り、周囲温度5~35℃で行い、軸の回転速度は毎秒60。レバーの移動速度は、毎秒20mmとする。

〔軸がた〕

基準面より、規定の曲げモーメントを互いに180°異なる方向から軸に直角に加えて、基準面から規定の位置における振れの大きさを測定する。

〔耐電圧〕

規定の箇所的交流電圧を1分間加え、アーク、焼損、絶縁破壊などの異常の有無を調べる。試験は、それぞれの端子を一括して行ってもよい。特に規定がない限り、下記の箇所の試験とする。ただし、構造上導通する機構になっているものでは、その部分の試験は行わない。

〔絶縁抵抗〕

規定の箇所を規定の電圧の絶縁抵抗計で測定する。とくに規定がない限り、下記の箇所を試験する。ただし、構造上導通する機構になっているものでは、その部分の試験は行わない。

〔耐電圧と絶縁抵抗の測定箇所〕

- 端子と軸(レバー)との間
- 端子と金属カバー(枠)との間

〔押しおよび引張り強度(レバーの押しおよび引張り強度)〕

軸(レバー)の軸線方向に規定の大きさの力をそれぞれ10秒間加えた後、操作部および関連部分の変形、破壊、動作状態を調べる。